

語句の意味をとらえる

(ことわざ)

名前

★ことわざとは、昔から人々によって言い伝えられてきた、人生の教訓や生活の知恵、物事の道理などを短く言い表した言葉です。

やってみよう

- 一 次の(1)から(10)の文中の【 】に入る言葉を、あとの語群から選んで書き、ことわざを完成させなさい。
- (1) 【 】に小判(貴重な物も、その価値がわからないものには役に立たない)
- (2) 【 】をたたいて渡る(用心を重ねる)
- (3) 帯に短し【 】に長し(中途半端で役に立たない)
- (4) ちりも積もれば【 】となる(わずかなものでも積み重なると、大きくなる)
- (5) 泣きつ面に【 】(不幸に不幸が重なる)
- (6) ぬれ手で【 】(苦労せずに多くの利益を得る)
- (7) 能ある鷹は【 】をかくす(実力者ほど人前で力をみせつけない)
- (8) 【 】の上にも三年(つらくてもがまんして続ければ必ず成功する)
- (9) 【 】も木から落ちる(その道の専門家でも、失敗するときもある)
- (10) 早起きは【 】の得(朝早く起きるとよいことがある)

蜂・三文・栗・爪・猫・石・猿・たすき・山・石橋

二 次の(1)～(5)のことわざの意味を下から選んで、それぞれ線で結びなさい。

- (1) 馬の耳に念仏 . . . 少しの力や助けでは効き目のないこと。
- (2) 亀の甲より年の功 . . . 実行してみると意外とうまくいく。
- (3) 転ばぬ先の杖 . . . いくら意見しても効き目のないこと。
- (4) 案ずるより産むが易し . . . 年長者の経験は尊重すべきだ。
- (5) 焼け石に水 . . . 失敗しないように、前もって用心すること。

三 次のアからエの文の——線部のことわざで、使い方がまちがっているものを一つ選んで、記号で書きなさい。

- ア 「もつと早くから受験勉強をしておけばよかった。後悔先に立たずだ。」
- イ 「何回同じ失敗をすればいいんだ。仏の顔も三度までだぞ。」
- ウ 「夏休み遊びすぎたせいで、九月になっても宿題をしている。善は急げだ。」
- エ 「今の時間は、この道は渋滞する。急がば回れだ。別の道を行こう。」